



議会だより

北栄



「1秒でもはやく」

6月21日
第28回すいか・ながいも健康マラソン大会
10kmコース大谷給水所

減額 町営住宅設計費 P.2

初開催 一般会議 P.4

町政 ここを問う P.5



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



質疑あれこれ

6月 町営住宅設計料大幅減額 定例議会 委託料

平成27年6月定例議会が、6月5日から16日まで開かれました。提案された条例や補正予算など16議案と議員発議の2議案は、すべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算（第2号）は1942万円の減額で、主なものは、町営住宅建替設計委託料5864万円の減額、コミュニティ助成（宝くじ助成）事業交付金840万円の減額、お試し住宅進入路整備費221万円、園芸産地活力増進事業補助金258万円、町道排水路修繕工事設計委託料750万円などです。

専決処分	住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）	（※繰上充用3190万円）	全会一致
	下水道特別会計補正予算（第1号）	（※繰上充用 745万円）	全会一致
条 例	道路占用料徴収条例の一部改正	（道路占用料の一部改定）	全会一致
補正予算	一般会計補正予算（第2号）	（▲1942万円）	全会一致
	介護保険特別会計補正予算（第1号）	（ 19万円）	全会一致
	下水道特別会計補正予算（第2号）	（ 778万円）	全会一致
	水道会計補正予算（第1号）	（▲1822万円）	全会一致
そ の 他	特別功勞表彰・功勞表彰	（合併記念式典で23名を表彰）	全会一致
	工事請負契約の締結	（大栄体育館耐震補強建築主体工事8046万円）	全会一致

※繰上充用とは……平成26年度の収入不足（未収金）を、平成27年度の予算から前借りすること。



避難所としても使用する大栄体育館

一般会計補正予算 (第2号)

町営住宅の建替

問 前田 栄治

①当初予算に計上した町営住宅建替設計委託料が、今回補正で早くも大幅に減額された。当初予算計上時から、詰めが甘かったのではないかと。②財源を国に頼っているのは、今後の建設工事のスケジュールに影響が出るのではないかと。

答 西尾副町長

①要望していたが、国は全体予算枠の中での配分であり、全国的に要望過多での結果である。今年度中途での追加交付の見込みはなく、いたしかたない。



由良宿団地

②今後、交付金の見込みがつかなければ、建設財源を合併特例債に切替え、特例債の使用期限までに完成したい。

問 田中 精一

設計業務が遅れることは、来年度から予定されている建設工事がずれ込むことになる。せめて一棟分の詳細設計を、純町費で今年度中に実施し、建設を予定どおり来年度から着手すべきでないか。純町費が難しいのであれば、合併特例債で対応してはどうか。

答 西尾副町長

純町費での対応は難しいが、合併特例債は検討してみたい。

「道の駅」の再編

問 宮本 幸美

今回の補正予算の北条道の駅の修繕費は、必要だ。将来的には、町内2カ所の道の駅を1カ所に再編すべきではないか。

答 松本町長

町内1カ所に再編することは考えていない。



道の駅北条公園

下水道会計補正予算 (第2号)

使用料の値上げにつながらないか

問 田中 精一

①下水道事業の公営企業法適用移行調査委託は、移行するための準備調査か、または移行の可否を検討するための調査か。②法適用に移行すれば、今後、赤字補填などの一般会計からの基



大栄浄化センター

準外繰入ができなくなり、その結果、使用料の値上げにつながるのではないかと。

答 吉岡地域整備課長

①あくまで移行準備のための調査である。ただ、デメリットが多いことが判明すれば、移行の可否を検討することもある。②従来から使用料改定は、三年毎に、下水道使用料審議会に諮問している。法適用に移行しても、基準外繰入は制度上可能であり、質問の「移行による使用料の値上げ」はないと考えている。

請願・陳情審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部執行委員長 本川 博孝ほか	採 択 全会一致	地方財政予算全体の安定確保を図るため →意見書の提出
NHK受信料の全世帯支払義務化に反対する意見書提出の陳情	足羽 佑太	採 択 全会一致	NHK受信料の全世帯支払義務化に反対するため →意見書の提出
13回目の地球社会建設決議陳情	荒木 實	不採択 全会一致	北栄町議会として判断する範囲を超えているため

初開催 一般会議

議会基本条例に基づき、町政全般にわたる諸課題について、議員と団体等が自由に意見交換する一般会議を開催しました。

「精神障がい者家族会 幸の会」 6月4日 社会福祉センター 13人

「はじめに」

幸の会は、障がい者が社会で孤立することなく貢献ができ、認められ、自分の居場所があり、それらをかかなえる方法を模索している。毎月の定例会で、会員の悩みを共有してきた。

「いろいろなことばかりではなく、将来幸せになるために現在の試練がある。考え方を少し変えれば幸せになる。」という思いを込めて会の名とした。

「主な意見」

- ・障がいがあっても認めたくない。公表するとレッテルを貼られてしまうと思っている人が多い。
 - ・障がい者の能力が、最大限発揮できる方法を考えてほしい。
 - ・公の職場で率先して、障がい者の雇用を要望する。
 - ・障がい者に合わせた職場環境が必要である。
 - ・障がい者が認知され、健常者と共生できる社会になってほしい。
 - ・治療に長くかかることがあるので長期の支援を要望する。
- 会員の皆さんの生の声を聞き、今後の政策に反映させたい。

「最後に」

「男女共同参画推進会議」 6月23日 中央公民館大栄分館 26人

「はじめに」

この会は、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野に参画する機会が確保されるために、活動している。

「主な意見」

- ・朝6時30分のチャイムがどうしてなくなったのか。
 - ・イベントの参加者が少ない。ボランティアの気持ちを考えて、職員も参加するなど、もっと盛り上げてほしい。
 - ・町の行事、イベントが多すぎる。同じ日に行事が重ならないようにしてほしい。
 - ・費用対効果を考えて行事、フォーラム等を開催してほしい。
 - ・介護保険料が高いと感じている。在宅ケアのために、訪問介護、介護予防等に力を入れてほしい。
 - ・コナン駅と青山剛昌ふるさと館の間でシャトルバスを運行しているが、乗っている人が少ないのではないか。
- たくさんの意見をいただいた。町政に反映させたい。

「最後に」

たくさんの意見をいただいた。町政に反映させたい。

ここを問う

町政

質問席

6月定例議会では10人の議員が
20問の一般質問を行いました。

質問分野	質問事項	質問者	ページ
政治・政策	協働活動の現状把握と対応策	浜本 武代	6
	庁舎統合	前田 栄治	6
	入札のあり方	阪本 和俊	7
	県知事選挙での考察と方向性	森本真理子	7
	西高尾にある飛行場	斉尾 智弘	8
地方創生	ふるさと納税	飯田 正征	8
	北栄町地方創生事業の取り組み	阪本 和俊	9
福祉・健康	地方創生事業と農協改革	阪本 和俊	9
	障がい者福祉施策の充実、地域生活支援	町田 貴子	10
	福祉交通の改善	長谷川昭二	10
	若年性認知症対策	阪本 和俊	11
	振り込め詐欺から高齢者をどう守る	斉尾 智弘	11
農業・産業	家族農業の推進と災害時の支援	斉尾 智弘	12
	企業誘致と起業の促進	前田 栄治	12
	プレミアム付き商品券の販売方法	油本 朋也	13
	観光振興	町田 貴子	13
定住・子育て	移住・定住	飯田 正征	14
	子育て支援	津川 俊仁	14
	子育て支援	長谷川昭二	15
	大谷保育所から認定こども園「大谷こども園」に名称が変わり見えてくるもの	森本真理子	15



男女共同参画推進会議



浜本 武代

浜本

次の4点の、協働活動の現状と具体策は、
 ①継続され成果が出ている事業
 ②必要だがまだできていない事業
 ③農業振興基本計画の「みんなで農業に関わろう」
 ④教育大綱の「住み続けるなら北栄町」

協働

現状と対策

町長 出前講座で研修

農委長 できることから取り組み 教委長 学びと実践



マラソン大会を支えるボランティア

町長

①大栄生涯学習まちづくり研究会、砂丘まつり、あいさつ運動や青少年の見守り、マラソンのボランティア、公民館まつりなど
 ②自主防災の組織化、健康によるまちづくり、あいさつ通りモデル自治会「対策」出前講座等での受講

農業委員長

③農業をとりまく多くの課題の中で、地域住民がそれぞれの立場で農業による生きがいや誇りを持てるように関わる。

教育委員長

④学びを通して、人権を尊重し、交流を深め、見守り、助け、支えあう地域づくり。

庁舎統合

最終判断は

町長 統合する

前田

地域座談会を8会場で開催し、庁舎統合をメインに説明した。資料はメリットばかりで、統合が決定のような内容である。デメリットはないのか。

町長

デメリットは統合に要する経費負担と北条地区住民のみなさまに不便をお願いする部分がある。8回の地域座談会で説明し、出席者には、理解いただいたと感じている。庁舎統合を実施し、分庁方式である現状の課題を解決していくことが責務である。



前田 栄治



北条庁舎

県知事選挙

考察と今後の方向性

選委長 出張期日前投票所を開設

森本

今回の選挙から一部地域において期日前投票所の出張や、投票所への無料送迎バスが運行された。今回の選挙での考察とこれからの方向性は。

517人。一番多いところでは124人の方が利用された。県内ではじめての取り組みで、利用した方から、「よかった。つづけてほしい。」との意見を多くもらった。無料送迎バスの利用者は、1人だった。入場券はがき裏面への期日前投票所についても検討する。

選挙管理委員長

開設は、9力所。1力所につき2時間、3日間回った結果、出張期日前投票所の投票者数は

票宣誓書の印刷は、多くの方が事前に記入され、受付事務の軽減につながった。今後の方針として、出張期日前投票所の取り組みを続けたい。その開設場所について検討を開始した。無料送迎バス運行についても検討する。

入札に疑問

競争原理が働かず

町長 町内業者を優先



阪本 和俊

阪本

最近の指名競争入札の状況は随意契約ではないか。これでは競争原理が働かず、町や町民の負担増となる。町民から不信感を持たれないよう対策を講じるべきと考える。



町内業者が受注した大栄中学校の法面工事

町長

町の入札方式は、原則指名競争入札を行っている。これはあらかじめ格付け技術者数などの把握ができ、ある程度の施工能力が担保された上で業者選定ができる。町内業者が落札できないと、雇用が守れない。災害、除雪時には業者の協力が不可欠であり、町内を優先して指名している。



森本 真理子



大谷公民館での出張期日前投票所

町政ここを問う

中高生との関わり

意見の交換

町長 **すでに実施**



阪本 和俊

阪本

中学、高校生の意見交換や※パブリックコメントも必要。

県内の高校では地域の課題や実情を生徒自ら町民に聞き取りを始め、ある町では高校生の案を創生事業に盛り込み予算化されている。我が町でも地元を愛する子どもたちを育てるべきである。

※パブリックコメント＝住民から広く意見を募集すること。



地域探究の時間 コナン空港見学に出発

町長

総合戦略の策定にあたり、幅広くアイデアを公募し、創生座談会の開催により、自治会や若い方、農家の方また中学生などと意見交換を行ってきた。今年度から鳥取中央育英高校では、人材育成を目標とした「地域探究の時間」が始まった。地域を知ることを通じて魅力や課題を研究し、活性化させる企画を提言していただき、町政に反映したい。

西高尾の飛行場

スカイスポーツの拠点

町長 **記念イベントをPR**



斉尾 智弘

斉尾

西高尾にある飛行場は、現在、飛行クラブの皆さんと県の防災ヘリが使用している。また、くちこみで飛行マニアの人たちも増えている。

名称は付けないのか。また、山陰唯一のスカイスポーツの拠点とPRし、合併10周年記念行事としてのイベントを考えては。

町長

現在「西高尾ダムスカイスポーツ」という名



西高尾ダム上空を飛行

称で活動しておられ、町として変更は考えていない。合併10周年記念イベントの2次募集に山陰マイクラブレーンクラブから「第一回すいか空港まつり」を行う事業に応募があり、審査会を行った結果、採択と決定した。10月3日に開催予定で、スカイスポーツの楽しさと面白さを理解してもらい、町の活性化につなげたい。合併10周年記念事業のイベントPRチラシの作成や町のフェイスブック、町報等で紹介していく。

ふるさと納税 お礼の工夫

町長 **積極的に取り組む**

飯田

寄付者をさらに増やすため、従来の物品だけでなく「家屋敷の草取り、墓掃除のサービス」等の事業をお礼の品として追加するなど工夫をしては。

また寄付した人が多い都道府県で感謝祭イベントを実施して北栄町のPRをすることや、町内全家庭に「ふるさと納税協力のチラシ」を配布し、県外に出ている方への協力を求めている。

町長

物品以外のサービスの追加に、大変興味を感じて。取り組んでいきたい。周知方法も、すいか・ながいも健康マラソンや県外イベントなどを利用して、今後も機会を捉えPRしたい。

飯田 正征



町民の方へも、親戚、友人への声掛けを、引き続きお願いしたい。ふるさと納税は、今後厳しい状況が見込まれる町財政を救うツールと考える。

創生事業と農協改革

JAの内部改革は

町長 **申し入れしない**

阪本

農協は農家にとつて頼みの綱。近年の全農の取り扱い高は最盛期の60%程度まで落ち込んで、農協離れが進んでいる。町の基幹産業の農業を守るため、農協との話し合いをしてはどうか。

町長

農業振興基本計画の具現化についても、町や県に加えJAもパートナーとして重要な役割を果たしていただく。これからの事業を町民や農家のみならず一緒に進めるにあたり、体質改善や内部改革について、町から強く申し入れすることは妥当でないと感じる。



JA鳥取中央 大栄支所

町政について

町政について

若年性認知症

早期発見・治療が重要

町長 家族の気付きが大切



阪本 和俊

阪本

若年性認知症の増大がクローズアップされている。早期発見、早期治療の重要性が専門医から指摘されている。専門医による健診を義務づける対策が必要である。

町長

若年性認知症は、65歳未満で発症する認知症のこと。



平成27年4月19日付 北國新聞

本町で認定されている方は4人であり、その方が全てが脳血管疾患である。多くの方が現役で仕事や家事をしているので認知機能が低下すれば支障が出て大変である。早期発見は、家族による気付きが一番でそれが早期治療につながる。そのため研修や相談体制の啓発を考えている。

障がい者福祉

雇用の確保

町長 事業所研修で理解



町田 貴子

町田

① 自立支援給付助成などの改正は早急に周知すること。また、今後の対応は、
② すべての要介護認定者に紙おむつの支給を。
③ すべての障がい者に雇用を確保し、特性を考慮した就業可能業務、時間など、就労体制を整える。町内事業所への理解の周知。

町長

① 地域生活支援事業の助成制度の改正は、今後、



あいサポーター研修は自治会でも実施

町報やホームページ、また、該当者へ直接通知するなど検討。
② 今後、要介護度が低くても紙おむつが真に必要な人に対象を広げていく方向で検討。
③ 町は2名の身体障がい者を雇用し、町内の8事業所のうち4事業所が法定雇用率を達成。ハローワークの「職場実習制度」などを活用し、短時間労働や適正な業務内容に「あいサポーター研修」を受講してもらい、理解につなげたい。

福祉交通

町外への利用にも適用

町長 対象者の拡充を検討

長谷川

高齢者は身体機能が衰えてくるので、外出が困難になる。

現行の町タクシー助成制度では、町外の医療機関への通院は適用外となっている。さらに買物も日常生活には不可欠である。一人暮らしの高齢者に、元気で安心して暮らしていただくため、町外の通

院や買物にタクシー助成制度を適用すべきではないか。

町長

町タクシー利用料助成事業は、本来、交通不便地域の方の最寄の公共交通機関等までの利用を前提としており、町外までの利用は対象としていない。平成27年度から全

町の運転免許証自主返納者及び自動車を運転できない一人暮らしの高齢者を対象とし、利用範囲を拡大した。

現時点では、基本的な制度変更は考えていないが、高齢者のみ世帯の方やこれに準ずる世帯の方を対象とするよう、さらなる拡充を検討したい。



長谷川 昭二



振り込め詐欺

被害からどうを守る

町長 通話録音機を貸与

斉尾

高齢者が増える中、振り込め詐欺の電話による被害も後を絶たない。北栄町の被害状況と対策は。

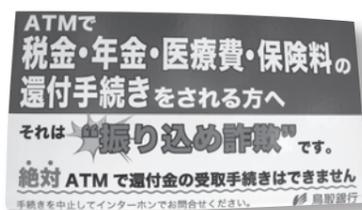
町長

60歳以上の相談は9件で、うち2件は実際にお金を振り込んでしまい被害にあっている。県では警告メッセージを自動発信する通話録音機器を100台購入し、市町村へ貸与する事業を始めた。本町では今年度5台を借り入れる予定で、以前に相談を受けた方など

を中心に貸し出しを行う。啓発活動として老人クラブやいきいきサロン、デイサービスに出向き講座を実施したり、講演会の開催、パンフレット、DVDの視聴などを実施。地域包括支援センターや民生児童委員などと連携し、見守り活動の推進を図る。



斉尾 智弘



ATMの注意喚起ステッカー

町政のことを問う

町政のことを問う



齊尾 智弘



大栄地区の農業ハウス

家族農業 どう推進

町長 家族経営協定を推奨

齊尾 農業の経営体は家族農業が中心である。家族農業は日本型農業の基本となっている。本町での推進は、また、台風被害への支援策は。

町長 家族経営の農業はよい点もたくさんあるが、経営と家計が混同し資金繰りに失敗しやすい。就業条件があまりに不利になりやすく不満やストレスが生まれがちである。その解

決方法として「家族経営協定」を推奨している。災害時支援については、予見し対策を打つことは非常に困難である。最小限に食い止めるためにも、日頃から農地農道、水路の維持管理、機械や施設の点検などで長寿命化を図っていただきたい。ねばりつこの台風被害は町に届いていなかったため支援は考えていない。

企業誘致と起業促進

農商工推進室の成果

町長 まだまだ不十分

前田 ①平成24年から農商工推進室が設置された。1年目は計画、2年目からは実行だが、成果は。

②人口対策、女性活躍には働く場が必要である。現在の産業振興条例では、企業側のメリットとして、決め手に欠ける。雇人数や女性社員比率によっ

て、地方創生予算を活用した支援策を考えては。

③新たな起業に対する支援補助金があるが、いつ頃どのような形態で実施するのか。



前田 栄治

町長 ①東京の赤坂アークヒルズでの宣伝・販売活動や、農業情報サイトの運営、企業誘致活動、特定

創業者支援制度の創設、住宅リフォーム助成事業、お試し住宅のオープン等実施してきたが、地域の潜在力を十分に引き出していない。今後も農商工推進室を連携の拠点として農商工連携事業を実施していく。

②具体的な支援策を作るより、その企業にあった支援策を進めることが最善である。

③今後は3件程度の支援を予定。7月に公募、8月に審査、支援決定の流れを進める。



イオンモール伊丹昆陽の鳥取フェアに参加

プレミアム商品券 不公平感の払拭を

町長 再度の発行も検討



油本 朋也

油本 商品券の販売上限額が50万円とされたため、購入世帯数は町全体のわずか5・7%。高額品を扱う一部の業種の消費が喚起されても、他の多くは伸びが予想できないのでは。

一握りの業種と購入者だけが恩恵を受けることや、不透明な販売方法に公平不満が続出。これを払拭するため買えなかった世帯対象に、公平な方法で再度発行しては。

町長 今回の事業は、商工会の要請を尊重し購入限度額を引き上げ、町内で高額品の消費喚起を促し、消費の町外流出抑制を意図したが、国のもう一つの目的である生活支援は十分ではなかった。

不満の声に耳を傾け、公平性を欠いた販売方法の反省と、販売時の不手際も調査し、アンケートの結果を踏まえ、再度の発行も視野に検討したい。



観光振興 観光プランで誘客

町長 ツアー造成の強化

町田 コナンやすいか・

ながいもマラソンなどのイベントに特産品と、お台場、レークサイド大栄、蜘蛛ヶ山など名所、歴史、文化にふれる観光プランを立て誘客を図るべき。

商工会、農協、観光協会などと連携した積極的な取り組みは。また、美術館&まんがミュージアムの誘致に期待する。

町長 青山剛昌ふるさと館周辺等に魅力ある飲食店がオープンすれば、観光客の滞留が期待できる。商工会の集合店舗構想もあるが、町も通り沿いの空き店舗を活用し、飲食店の開設に向けて働きかける。

観光資源を活用したイベントの企画や、観光協会から旅行社へのツアー造成の取り組みを強化するよう働きかける。

今後、県の美術館検討委員会で規模等が決定すれば、候補地も絞られる。誘致に努力する。



町田 貴子



コナン駅とふるさと館を結ぶ無料シャトルバス

町政インタビュー

町政インタビュー



飯田 正征

移住・定住

転出の原因分析と対策

町長 魅力的なサービス

飯田 移住・定住は、地方創生の大きな柱である。

①現状は多くの町民が結婚等を機に近隣の市町で生活している。その原因を分析している。

②移住策として空き家バンクの活用、新婚世帯用住宅の確保など不動産関連企業との連携を。

③定住策としてお試し住宅の増設、定住住宅の建設等を促し、田舎生活体験ツアー等に取り組んで。



お試し住宅の内部

町長 ①原因は4月から行っている、転入転出者へのアンケートで分析したい。

②移住の施策は、移住奨励金や家賃補助などを用意。空き家活用にも空き家活用支援員を配置。専門家を交えて相談できる体制を整える。

③定住は満足度や幸福度がカギになる。町が住人の満足度の高い魅力的なサービスを目指すことが定住につながると思う。

子育て支援

産み育てやすいまちへ

町長 今後の推移を注視 環境を整備

教委長

津川 ①第2子の保育料の半額制度を広く享受してもらったために、同時入所要件の撤廃としては、

②保育料の4月分は、2か月分の支払いとなるため、負担感は大きい。早い確定・請求はできないか。

③家庭で保育する世帯に補助としては、

④婚姻した町内若者に月3万円の支援は。



津川 俊仁

町長 ①今後の推移を注視し、状況により検討。

②今年度から改善した。

③他町の事例を参考に検討。

④婚姻の認定や解消など実務的問題があり、制度化は難しい。



大谷こども園の公開参観日

教育委員長

①まち全体で子育てを支援し、産み、育てやすい環境を整備することが先決。

②前期は4月、後期は9月に決定、毎月納付とし、負担感は改善されている。

③他町の利用状況を注視したい。

子育て支援

小児の医療費無料化

町長 国に要望

教委長 貧困率は把握



長谷川 昭二

長谷川 ①経済的な理由から受診抑制が広がっている。特に子どもは病気になるかややすく、早期発見と治療の継続確保は必要不可欠である。小児特別医療費助成の一部窓口負担をなくし、完全無料化が必要である。

②子どもの貧困率の実態調査と支援策をどう進めるか。また進学準備金貸付制度の創設など就学援助の拡充が必要である。

町長

①医療費助成は、高校生まで独自に実施している。全て無料化することは、財政運営上困難であり、現時点では考えていない。

まずは、国に要望していく。

教育委員長

②実態調査は考えていない。保育料の所得階層や就学援助受給率から、概ね世帯の経済状況は把握でき、生活指導や就学に支障がないよう努めている。

就学援助の拡充は、準要保護対象要件や、就学援助項目の追加など充実を図っている。

大谷こども園 環境の整備

町長 他園と格段の差はない

教委長 計画的に改修

森本

園児は現在37人。

家庭的雰囲気、全園児に目が届く。しかし、園庭の遊具はジャンクルジムだけ。フェンスはさびび、他園に比べ、格段に差がある。保育内容、幼児教育の充実にも力を入れてもらいたい。

町長

園庭の遊具の種類は、各園の規模に応じて設置台数の差があるものの、他園と格段に差がついているとは考えていない。未満児側のフェンスについては応急措置をしているが、至急に対応したい。

教育委員長

大谷こども園は、小規模ではあるが、異年齢間の交流が日常的に行われ、保育教諭との関わりも充分ある。また、地域に根差したこども園と感じている。今、ある環境の中で最大限、子どもの育ちを保障していくよう努力している。危険箇所は、教育委員会職員が毎月園舎点検を実施し、計画的に改善、改修している。



大谷こども園園庭



かわいい 双子 ちゃん

掲載 双子ちゃん 募集中

谷村 ^{るわ} 瑠羽ちゃん・^{ゆあ} 結空ちゃん
(左) (右) (1歳・大谷)

大谷こども園にいらしています。瑠羽が踊り、結空がおえかきに夢中です。大好きなアンパンマンのように強くて優しい子になってください。



永田 ^{むつみ} 睦海ちゃん・^{なつみ} 七海ちゃん
(左) (右) (6歳・東園)

小学1年生になり、ふたりとも絵本から児童書を読むようになりました。読書に夢中です。明るくあいさつができる子になってほしいと思います。



知っとななる？こんな北栄

前田寛治「横臥裸婦」(鳥取県立博物館所蔵)



前田寛治は、明治29年、国坂に生まれる。東京美術学校西洋画科を卒業後、渡仏し、写実主義に傾倒する。帰国後は「1930年協会」を結成し、帝展と1930年協会展を中心に発表を続ける。また、「前田写実研究所」を設立して後進の指導に当たり、近代洋画界に大きな足跡を残した。この作品は昭和2年帝展(第8回)特選の受賞作品である。翌年、その実力が認められ帝国美術院会議で無鑑査資格の「推薦」を受けた。

大誠体育館(瀬戸)



町社会福祉センターの西隣にある大誠体育館は、昭和39年、当時の大栄町立大誠小学校体育館として新築され、今年で築51年を迎えた。最初の東京オリンピックの開催年である。昭和50年、3小学校の統合により、大誠小学校は閉校となり、体育館とグラウンドがその名残を留めている。昭和60年に開催された「わかとり国体」でバドミントン競技の練習会場にあてるため内外装を全面改装し、現在に至っている。

編集後記

春先から好天が続き、町の農業も一段と多忙な季節となりました。ラッキョウウ、スイカなど出荷も始まり、すいか・ながいもマラソン大会も無事終わりました。

JR西日本の名探偵コナン 鳥取ミステリーツアーも始まり、ふるさと館の入館も順調に増加し賑わいのある町となっています。

今年は合併して10年、更にふるさと創生の取り組みの元年、再生北栄町として何が必要か皆様と共に協働で活力ある町づくりを進めて行きます。

新生、広報委員も2年経過の節目で、これからも町民に愛読される充実した紙面づくりを目指していきます。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

宮本 幸美

発行責任者

議長 井上信一郎

編集

広報広聴常任委員会

委員長 宮本 幸美

副委員長 斉尾 智弘

油本 朋也

森本真理子

田中 精一

浜本 武代